

2020年11月20日
イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

施設管理の専門家集団へ「第2回イオンディライト技術コンテスト【清掃事業の部】」第2弾※
「第6回 働きやすさ追求活動 取組み発表会」を開催
アジア各地から代表チームが参加し、清掃業務における小集団活動の成果を発表

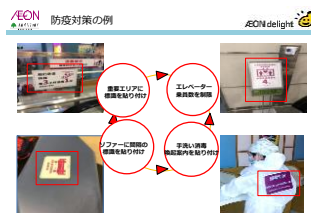


イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長兼社長執行役員 グループ CEO：濱田和成、以下「当社」）は、2020年11月19日に、当社東京本社（東京都中央区）をメイン会場に国内外各拠点をテレビ会議でつなぎ、「第6回 働きやすさ追求活動 取組み発表会」（以下、「本発表会」）を開催しました。

当社では、クリーンクルー（当社清掃スタッフの呼称）が日々の気づきや改善案を自発的に発信し、業務に反映できる風土の醸成を目的に2014年度より「働きやすさ追求活動」として現場単位の小集団活動に取り組んでおります。2015年度からは「働きやすさ追求活動 取組み発表会」として、コンテスト形式の発表会を実施し、本発表会により第6回目を迎えました。

本発表会には、当社グループが事業を展開する中国やアセアン各国を含めた国内外から、各社を代表する計15チームが参加しました。今期は、期初より新型コロナウイルス感染症が拡大し、人々の感染に対する不安が高まる中、各チームからは、施設利用者の「安全・安心」を支え続けるために実施された創意工夫に富む様々な取組みが発表されました。

【発表内容の一例】



① 武漢小竹物業管理有限公司 イオンモール金銀潭
チーム名「逆行者」

2020年1月下旬より77日間にも及んだ事実上の都市封鎖期間、クリーンクルーの通勤にも制限がかかる中、地域住民のいのちとくらしを守るために、チームワークを発揮し、互いに助け合いながら商業施設の営業を支え続けた。



② 北海道支社 札幌営業センター
チーム名「エッセンシャルパートナー」

就業先の病院において、新型コロナウイルスの対応に迫られる医療従事者を支えるためにクリーンクルー自身の感染予防策や健康管理の徹底により、感染者を一人も出さずに、感染対策を組み込んだ当社独自の「衛生清掃」サービスを提供し続けた。

当社経営幹部による審査の結果、各チームには、発表内容に応じて、優れた接遇対応やおもてなしを發揮した取り組みに「ホスピタリティアワード」、課題解決のために優れた知恵やアイデアを發揮した取り組みに「ユニークアワード」、新たな時代への挑戦、付加価値を創造した取り組みに「チャレンジアワード」、組織を横断した包括的な取り組みに「チームワークアワード」、そして、ユニークアワードとチャレンジアワードの両要素が感じられた取り組みに「ユニーク&チャレンジアワード」がそれぞれ授与されました。

■ 当社社長 濱田による総括

「今般のコロナ禍によって、イオンディライトグループが地域社会の『安全・安心』、ひいては『平和』のために重要な役割を担うクライシスマネジメント企業集団であることがより明確になったのではないかと思います。ただし、それは決して、いち企業による取り組みだけで叶うものではなく、施設を保有されるお客さまや施設をご利用される地域のお客さま、共にサービスを提供するパートナー企業の方々との協力のうえに成し得るもの。

本日は、各チームの発表から、絶えず自己研鑽に努める姿はもとより、共創により地域社会を守り、『平和』を実現していこうとする自覚と決意を感じることができ、大変誇らしかった。イオンが2020年6月30日に制定した『イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル』が掲げる『防疫が生活の一部となる社会の実現』に向けて、イオンディライトグループはその一翼を担う企業集団としての役割を果たしていく。そのためには、最前線で働く現場のイオンディライトピープルー一人ひとりの知恵やその集合知が最も重要。本発表会で披露された優れた事例の数々も、スピード感を持って水平展開していく。引き続き、『働きやすさ追求活動』を通じて、現場の知恵を集め、グループとしての資産を積み上げていきたい。」



(写真) 左から一番目：各チームを代表して当社社長 濱田から賞状を授与される東日本統括代表チーム「WW (ツウダブリュー)」、左から二番目：記念撮影、左から三番目：受賞のコメント

当社は、更なる持続的成長に向けて、2018年10月にイオンディライト ビジョン2025を掲げ、アジアにおいて、「安全・安心」、「人手不足」、「環境」の3つを成長戦略の柱に社会課題を解決する環境価値創造企業を目指していくことを決めました。これを実現していくため、「人間力」と「技術力」を兼ね備えた専門人材を育成し、期待を上回るサービスの提供を通じて、お客さま満足度をより一層高めることを目的に2019年より「イオンディライト技術コンテスト」を開催しております。

ウィズコロナ時代の施設運営において、美観の維持に加え、防疫対策に資する清掃サービスの重要性が益々高まる中、当社では、引き続き、「働きやすさ追求活動」を通じて、アジア各地で働くクリーンクルーの自発的な貢献意欲を高め、能力を最大限に發揮できる職場環境の形成に取り組んでまいります。クリーンクルーの意欲や活力を引き出すことで「人間力」や「技術力」の向上を促進し、専門家集団として、お客さまが求める「安全・安心」の新基準を上回るサービスの提供を目指してまいります。

※ 第1弾（設備事業の部）につきましては、2020年11月12日付「『第2回 イオンディライト技術コンテスト【設備事業の部】』を開催」、をご参照ください。また、第3弾（警備事業の部）につきましては、2020年11月20日に「第2回 喜び・働きがい向上プロジェクト ～“ありがとう”を成長へ！～」を開催予定です。

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 ディライトコミュニケーション部
TEL：03-6840-5712 FAX：03-3524-8902